

第5学年 総合的な学習の時間(なでしこタイム)学習指導案

草津市立草津小学校 教諭 田中 天友里

1. 単元名 「健幸都市くさつ」大作戦

2. 単元の目標

- ・草津市が取り組んでいる「健幸都市くさつ」について理解し、その取り組みのよさを理解し、市民の方々に提案するためにまとめることができる。(知識・技能)
- ・「健幸都市くさつ」の実現に向けて、草津市の現状・課題を整理し、解決策や自分たちにできる取り組みを考えたり、伝えたりすることができる。(思考・判断・表現)
- ・地域の一員として、「健幸都市くさつ」の実現に向けてできることを意欲的に考え、行動することができる。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1)教材観

本単元では、草津市が取り組んでいる「健幸都市くさつ」を教材として取り上げる。

取り組みについて市の健康福祉政策課の担当の方を招き、取り組みの目的や実際の活動を学ぶことで、取り組みへの意欲を高めることができる。どうしたら健幸になれるかを自分たちで考え、調べるだけでなく大学の先生から話を聞くことでより深く健幸について学ぶことが期待できる。

また、「健幸都市くさつ」を実現するために、日々の生活でできることを考え、市民に提案することで相手意識をもって活動することができるようになる。

(2)児童観

本学級の児童は、今までに栄養教諭の授業で食事や栄養について学び、普段の体育の学習で、運動が健康づくりに必要であることを理解している。一方で、こういった食事や運動が効果的なのか、自分たちではなく親や祖父母の年代ではどうなのかといったことを考えるきっかけはなかった。また、健幸は身体面だけでなく、精神面の健康も大いに関係している。社会参加と健幸が結びつくということを5年生のこどもたちが考える意義は大きい。「健幸都市くさつ」を実現するために、自分たちだけでなく家族や地域の人も健幸で過ごせるように考え、行動できるようにしていく。

(3)指導観

本単元の指導にあたっては、まず、草津市が取り組んでいる「健幸都市くさつ」について市が作成したPR動画を見ることから始める。この動画は市内商業施設の映画館の宣伝でも流されているため、知っている児童も多いと期待できる。動画を見たところで、「健康」ではなく「健幸」である理由を考える。健幸とは身体的な健康だけ

ではなく、精神的にも健康であることが大切であることに気付かせたい。また、同時期に保護者にアンケートを取り、児童が考える健幸と保護者が考える健幸の共通点や相違点について考える。

次に、市の健康福祉政策課の担当の方を招き、取り組みの目的や実際の活動を学ばせる。実際に話を聞くことで、より「健幸都市くさつ」について理解を深めることができる。

取り組みについて理解できたところで、健幸になるためにはどんなことをすればいいか考え調べる時間をとる。本やタブレットで調べるだけでなく、大学の先生を招き、より専門的な内容や効果的な活動について教えていただく。

最後に、草津市全体が健幸になるためにどんなことを取り組みればいいのか考え市民に発信する。市が健幸実現のために大切であると掲げている「運動」、「食事」、「社会参加」のグループに分かれて活動をする。発表の場は地域の「de 愛ひろば」を設定し、保護者だけではなく、市民の方にも参加していただける場となるようにする。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

公平性…健幸はどの世代も望んでいることであるため、誰もが健幸でいられるように考える必要があること。

連携性…「健幸都市くさつ」の実現のためには、市民全体が健幸の意識を持ち、協力して活動していくことが大切であること。

・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

草津市全体が健幸であるために、自分たちにできることは何かを考え実行する。

コミュニケーションを行う力

草津市全体が健幸であるために、自分たちができることを講師の先生のお話やデータから考え、意見交換を通して自分の考えをつくりあげる。

進んで参加する態度

「健幸都市くさつ」の実現に向けて、意欲的に学習に取り組み地域社会に貢献しようとしている。

・本学習で変容を促すESDの価値観

世代内の公正

年齢関係なく、皆が健幸で過ごせるまちづくりが大切である。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する

健幸でいたいという願いは時代・年齢関係なく皆がもっている。

・達成が期待されるSDGs

3 すべての人に健康・福祉を

4 単元の評価規準

| (ア)知識及び技能 | (イ)思考力・判断力・表現力 | (ウ)主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <p>①草津市が取り組んでいる「健幸都市くさつ」について理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりしたことを他者に伝えるために言葉や絵、図などにまとめている。</p> | <p>①データや講師の話から草津市の課題を見出し、自分たちにできることを考えている。</p> <p>②自分たちが考えたことを他者に分かりやすく伝える方法を考えている。</p> | <p>①地域の一員として、「健康都市くさつ」の実現に向けて、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>②健幸について考え、自分でもできることを実践しようとしている。</p> |

5 単元の指導計画(全22時間)

| 学習活動 | 学習への支援 | 評価 |
|---|---|--------------------|
| <p>1 「健幸都市くさつ」について知り、今後の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ健「幸」なんだろう。 ・自分たちは健幸かな ・健幸のためにできることってなんだろう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の映画館の広告で流れている市の宣伝動画を見せ、関心を持たせる。 ・保護者にアンケートを実施し、自分たちと親世代の意見の違いや同じ願いなどを確認させる。 | ア① |
| <p>2 草津市の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あのイベントも「健幸都市くさつ」のイベントだったんだ。 ・市内の公共施設に健康器具が置いてあったんだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の担当の方に説明してもらい、取り組みについて理解させる。 | ア① イ① |
| <p>3 三人の講師の先生の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動ってたくさんしなくてもいいんだ。 ・好き嫌いせずにいろんな食べ物を食べないといけないな。 ・社会参加って健幸のために大切なんだな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動、食事、社会参加の三人の専門の先生から話を聞き、健幸のためにはどのようなことが必要か考えさせる。 | ア① イ① ア② |

| | | |
|---|---|---------------------|
| <p>4 健幸のためにできることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家でも簡単にできる運動はないかな。 ・どんな献立ならバランスよく栄養が取れるかな。 ・草津市ではどんな活動で社会参加を促しているのかな。 <p>5 活動のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は健幸でも、地域の人はどうなのかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習を通して、健幸のためにできることについてさらに理解を深めさせる。 ・「健幸都市くさつ」が実現できているかを考えさせる。 | <p>イ①</p> <p>ウ①</p> |
| <p>6 「健幸都市くさつ」の実現のために自分たちにできることを考え、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家でもできる運動を紹介したいな。 ・お年寄りの人でもおいしく食べられる献立を考えたい。 ・地域みんなが参加できるイベントを考えたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動、食事、社会参加でグループに分け、グループごとに発表内容を考えさせる。 ・学区の社会福祉協議会の方に来ていただき、自分たちの考えた内容についてよりよい方法はないか相談にのってもらえるようにする。 | <p>ア②</p> <p>イ②</p> |
| <p>7 地域に発信する。</p> <p>8 活動をふりかえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人になっても健幸でいられるように今から生活習慣に気を付けたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・de 愛広場で実施し、地域の方にも来ていただけるようにする。 ・これからも健幸について考えられるようにする。 | <p>イ②</p> <p>ウ②</p> |